



2025年5月30日

各位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 田村 泰朗



太陽生命、「株式会社椿本チエイン」への 「太陽生命サステナビリティ・リンク・ローン」の実施

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 田村泰朗、以下「当社」）は、株式会社椿本チエインへの「太陽生命サステナビリティ・リンク・ローン」（以下「本SLL」）を実行しましたのでお知らせいたします。

本SLLは、当社が2024年10月に制定した「太陽生命サステナビリティ・ローン フレームワーク」（以下「本フレームワーク」）に基づく案件となります。

SLLは、借り手のESG戦略に対して設定されたサステナビリティ・パフォーマンス目標（以下、「SPTs」）の達成状況に応じて、金利条件等の貸付条件が変動する仕組みとなっており、持続可能な社会の実現を推進するローン手法です。

なお、当社が制定した本フレームワークは関連する国内外の原則・ガイドラインへの適合性について、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）より第三者意見を取得しています。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

<概要>

借入人：株式会社椿本チエイン

実行日：2025年5月30日

KPI：借入人グループのCO2排出量（総量ベース）の削減率

SPTs：①Scope1およびScope2：2030年度までに2021年度比42%削減

②Scope3（Category1、11）：2030年度までに2021年度比25%削減

インセンティブ：単年度毎のSPTs達成状況に応じた金利スプレッド優遇

SDGs：本SLLにおける同社SPTs達成を通じて、SDGsの下記目標の達成に貢献します。



当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（PRI）」^(※)に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。今後とも、責任ある機関投資家として、「T&D保険グループESG投資方針」に基づき、事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献する取り組みを進めてまいります。

以上

^(※) 責任投資原則(PRI=Principles for Responsible Investment)とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治(ESG)の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。